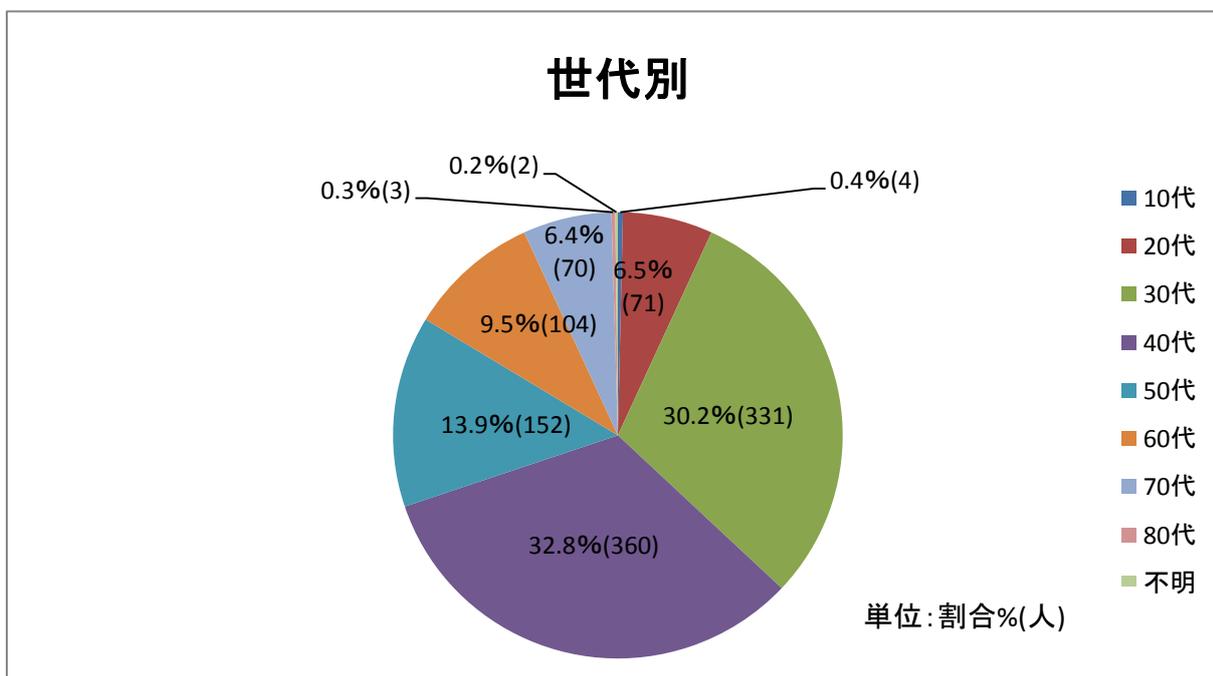
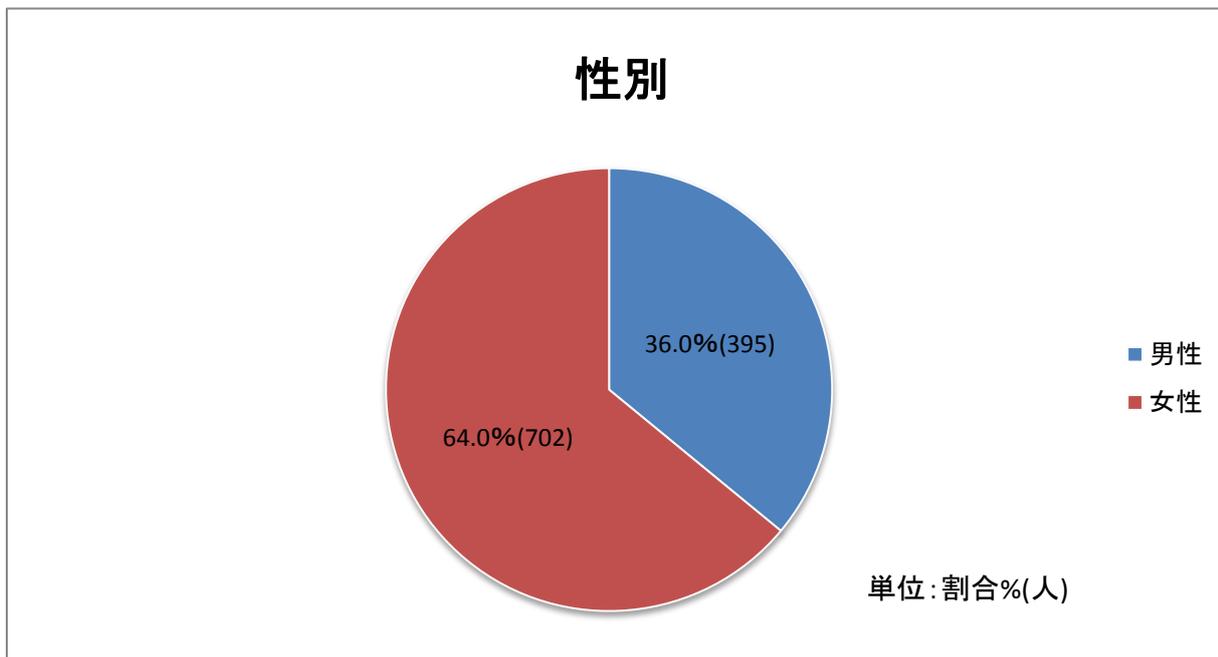


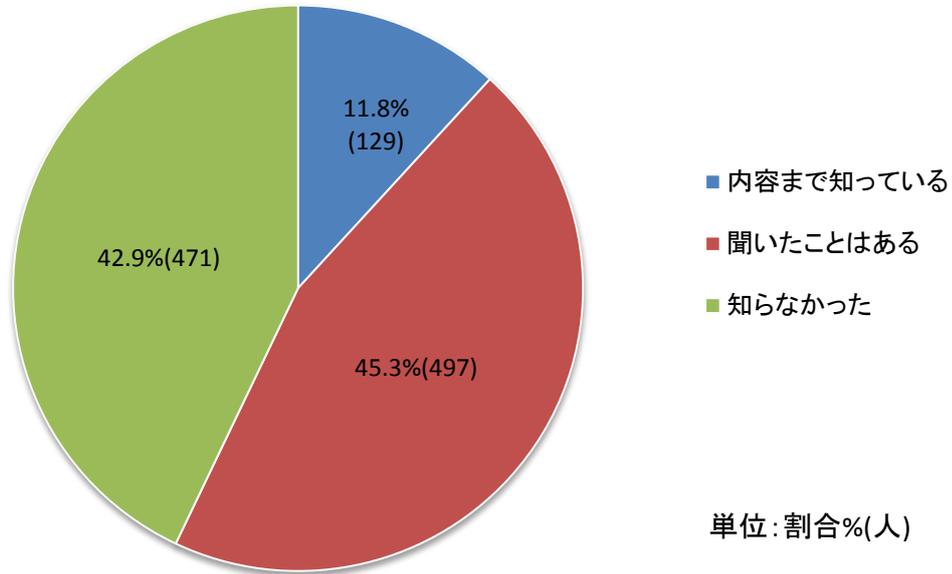
## 第2回eモニターアンケート「男女共同参画プランについて」

実施期間 平成28年6月30日～平成28年7月9日

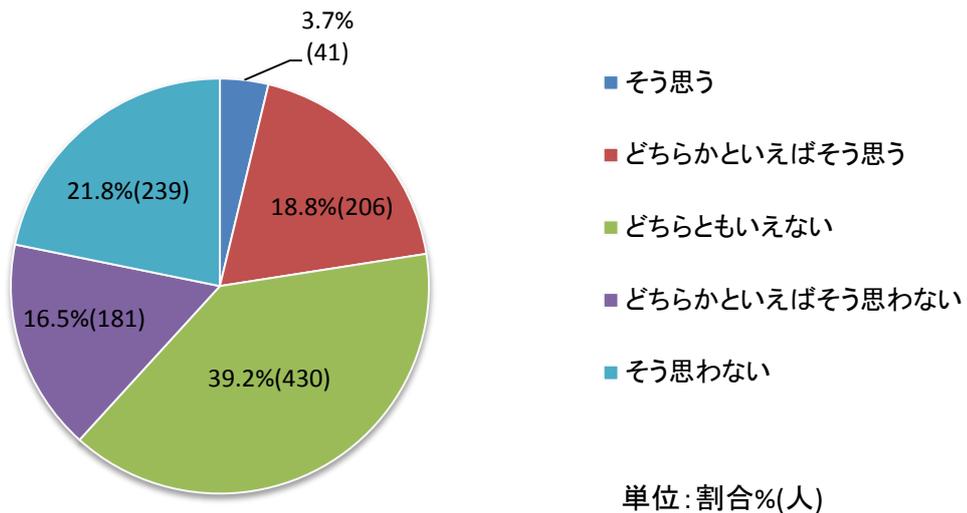
回答者数 1097人



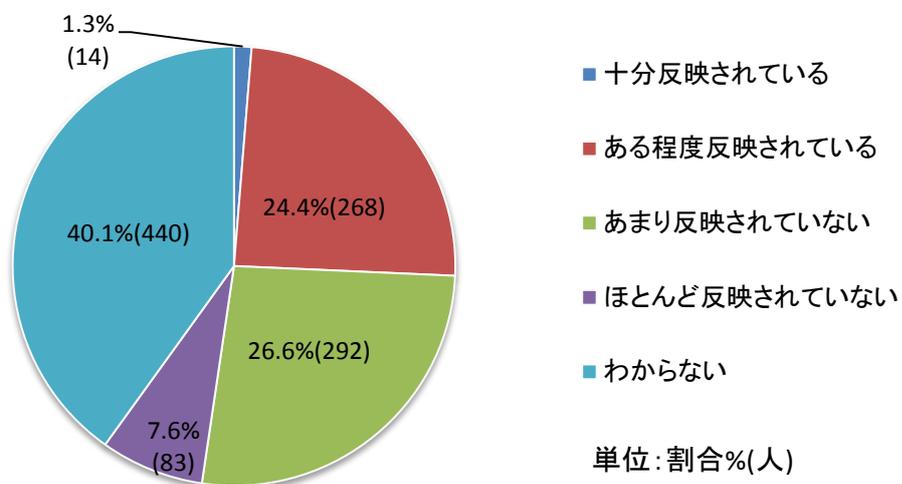
### 問1:「男女共同参画」について 知っていますか



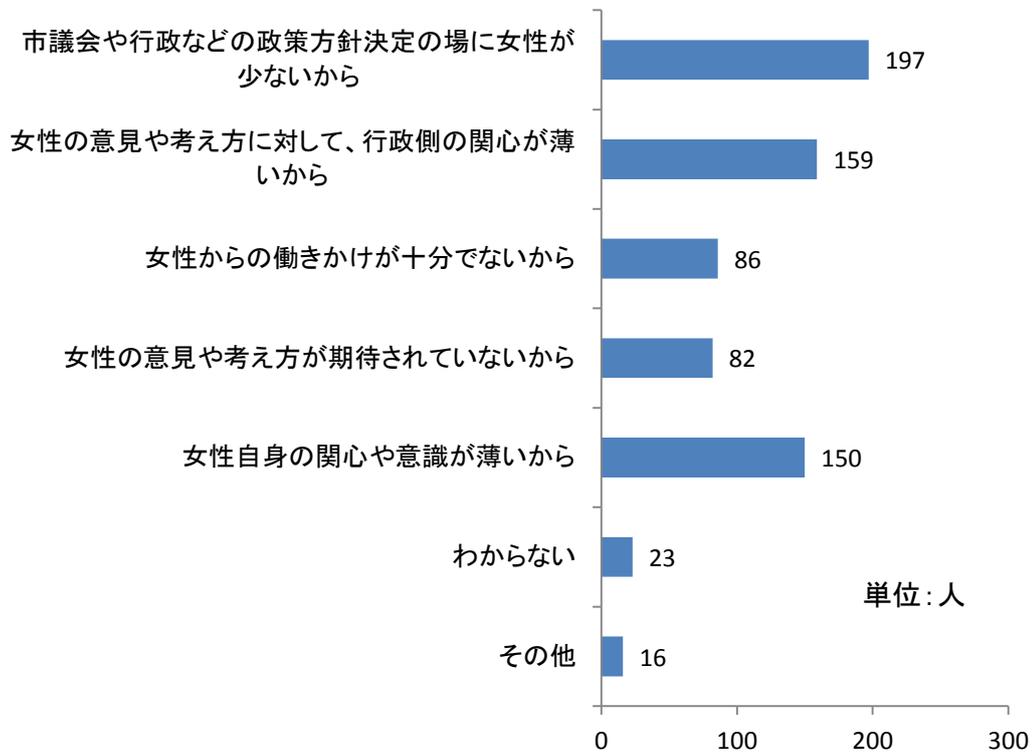
### 問2:「男性は外で働き、女性は家庭を守る方が よい」との考え方について



### 問3:市の施策に女性の意見や考え方が 反映されていると思いますか



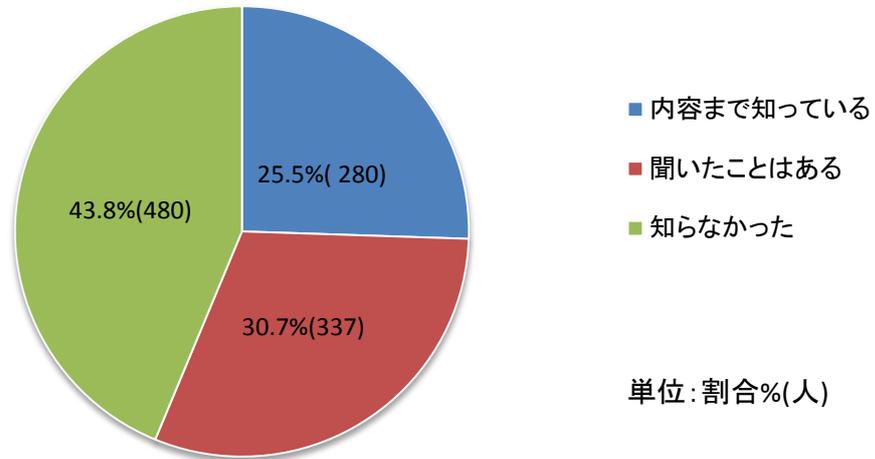
**問4:その理由は何ですか(複数回答可)**  
**(問3で「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」と回答した人)**



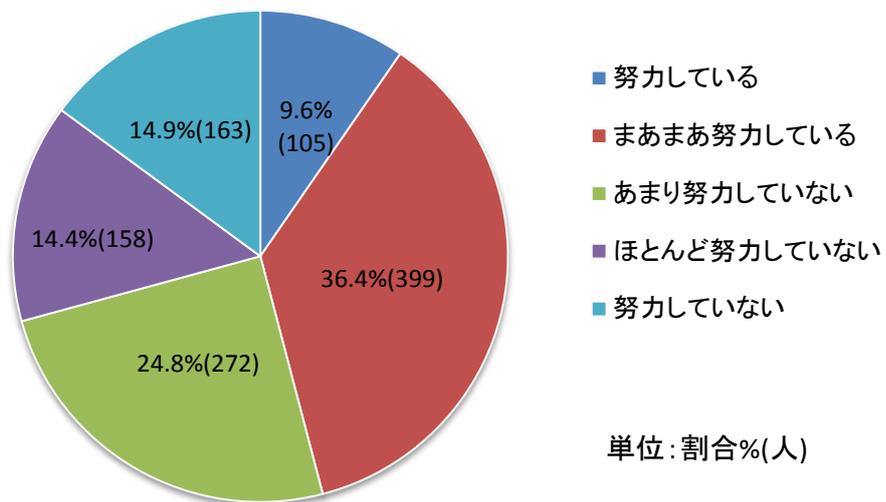
**【その他意見】**

- ・ どんなことが反映されているかわからないから
- ・ 私自身が市職員から差別をうけたから
- ・ 保育園の受入れ、病児保育等、子育て支援が充分ではないから、結果的に母親の女性は選択の幅が限られてくる
- ・ 意見などを言う機会が少ないから
- ・ 意見を聞いている女性が本当に一部の女性だと思うので。広く色々な女性の意見は聞かれていないと思うので
- ・ 女性の意見が幅広く収集される仕組みになっていないように思える
- ・ 施策にどういう意見をどのように反映しているかアピールがない
- ・ そういうの発信されてる気がしない
- ・ 男性上位社会だから
- ・ 保育園の申請の書類が母親の状況と父親の状況の書き方が違うから
- ・ 女性がそういうことを考え意見を出す場がない
- ・ 働くならば女性が男性と同じように働くことを要求されている気がするから。男性がベースの社会だと思う
- ・ 保育園に入りづらい
- ・ 広報拝読の結果からです
- ・ 男性の声の大きな人の意見が強く、そうだそうだと言ってしまう人も多いから
- ・ 職場や公衆の面前で女性が物事を言える環境になっていないことが多いのでは？

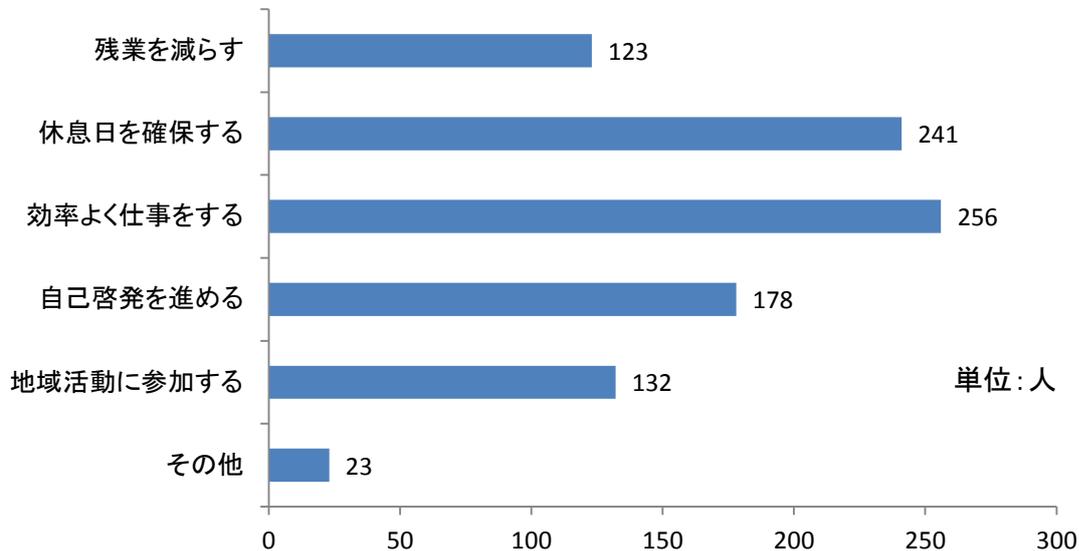
## 問5:ワーク・ライフ・バランス認知度



## 問6:「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために努力していますか



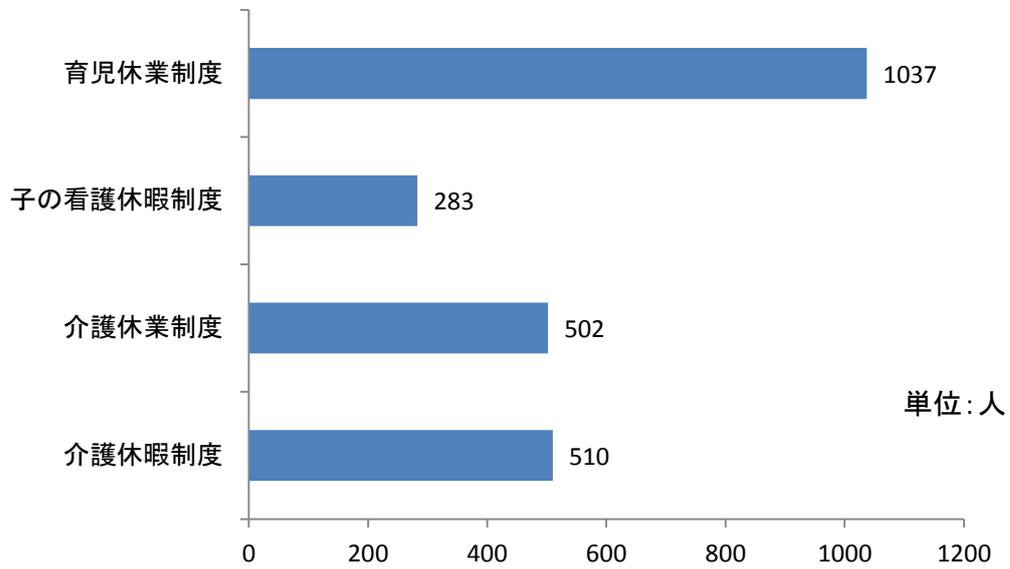
## 問7:「ワーク・ライフ・バランス」の実現のためにやっていること



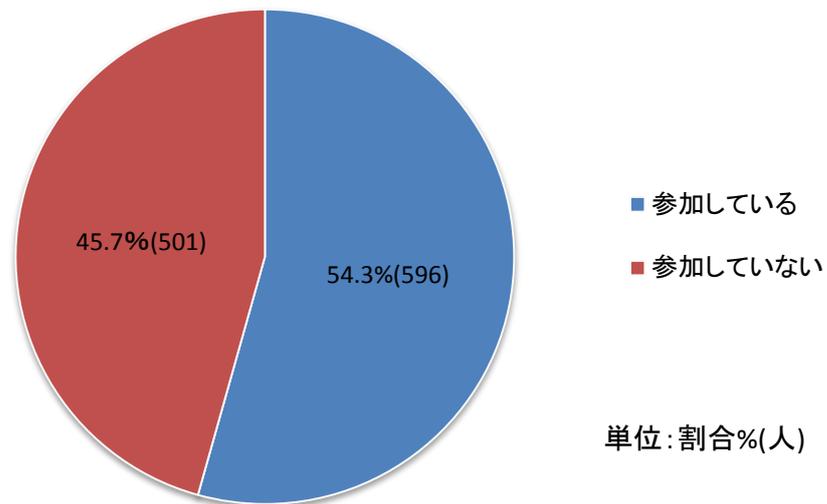
### 【その他意見】

- ・ 家庭に合った時間を選択して働いていた
- ・ 主婦の仕事優先しつつ少しずつ仕事をはじめた
- ・ 趣味の時間を作る。 ボランティア活動を無理のない範囲で行っている
- ・ 仕事はリタイアしました
- ・ パートの時間をセーブしている
- ・ 育児にとりくむ
- ・ 無理しすぎないように、オンオフの行動予定をきちんと立てておく
- ・ シニア世代なので夫婦でそれぞれ自分の出来る仕事を分担し補い合っています
- ・ 残業代はつかないが、家でできる仕事は家でやる
- ・ 効率よく家事をし、仕事に家のことが気にならないよう予防策を考えておく
- ・ 正規従業員として勤務していません。自分の趣味に力を入れるため経済的に問題がなかったため退職しました。その後は都合のいい時だけのバイトをしています
- ・ 休日を楽しみ
- ・ 趣味を持ち 充実した日々を送ってます
- ・ 子供との時間を作る
- ・ 家事をすることにストレスを感じない働き方を選んでいる
- ・ 家族との時間をもつようにしている
- ・ 家族で話し合う
- ・ 家族で過ごす時間を少しでも持つように心掛けている
- ・ 残業がない会社に転職した
- ・ 安城市さまの習い事を盾にして、残業せず時間を確保！でも、そのおかげで会社からは役立たず扱い
- ・ 子供に理解してもらおうように努めている
- ・ 昨年4月現役を引退するまでは、職場で実践されていた

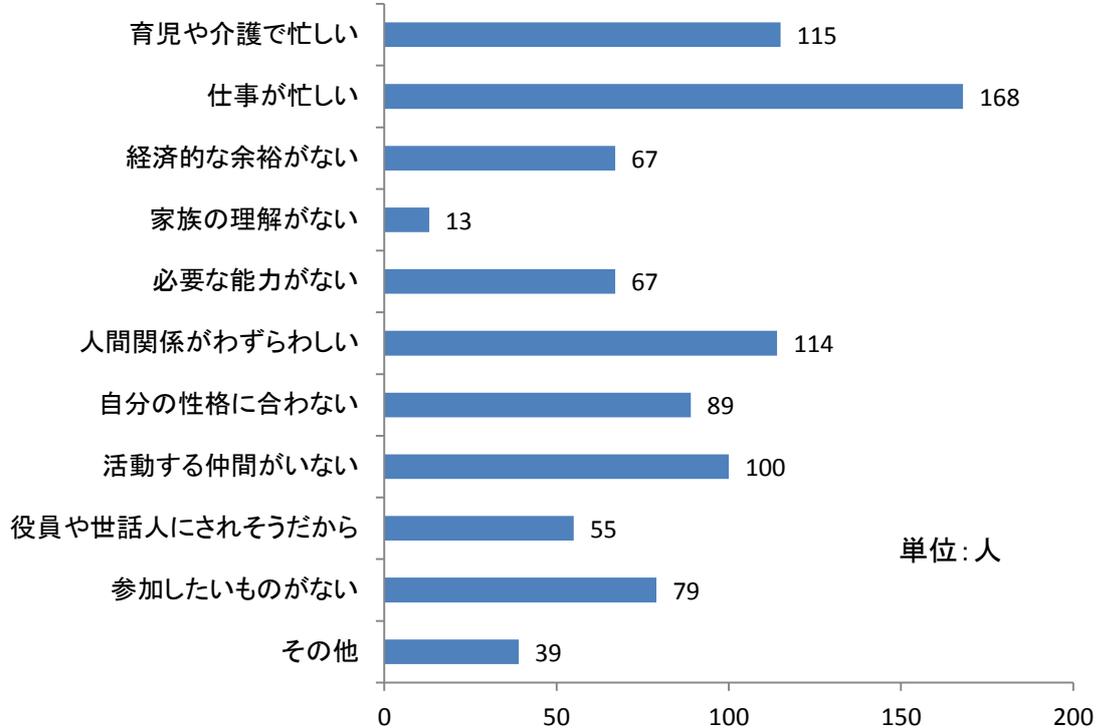
### 問8:知っている制度(複数選択可)



### 問9:現在、地域活動に参加していますか



問10: 地域活動に参加していない  
理由(複数回答可)  
(問9で「参加していない」と回答した人)

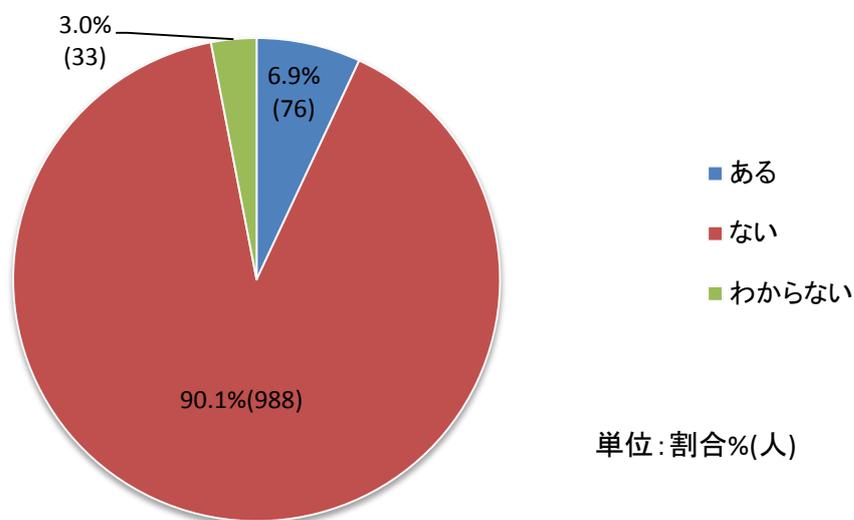


【その他意見】

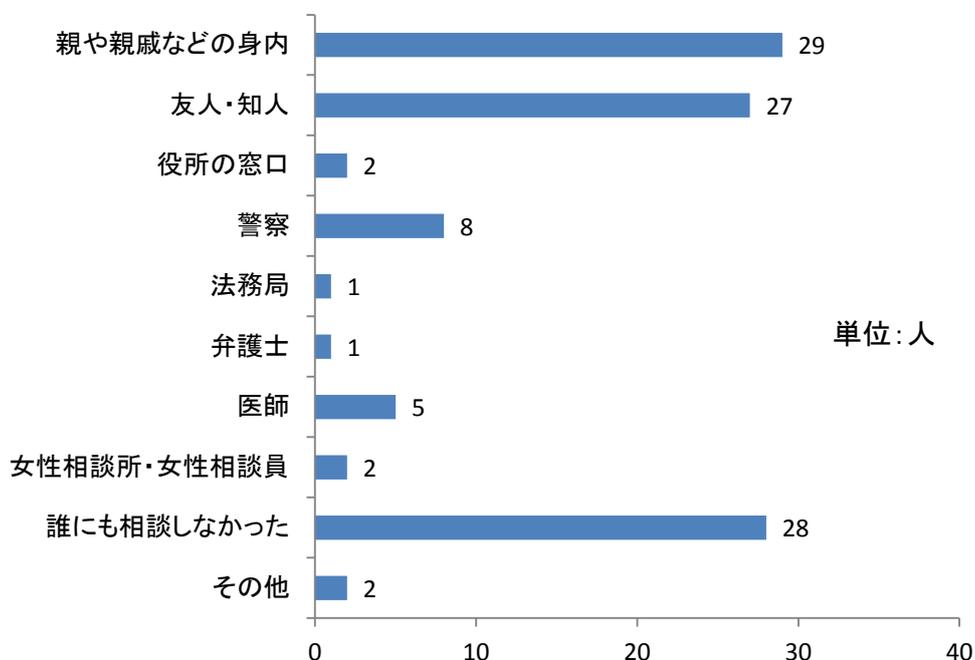
- ・ 妊娠中である為
- ・ 町内会の役員は順番で回って来るので
- ・ 子どもが小中学生の頃は機会が多く良く参加していましたが、今では機会が少なくなった
- ・ なんとなく
- ・ 機会がない
- ・ 高齢、ならびに心筋梗塞の術後で月1回の通院と毎朝の服薬中のため活動から引退した
- ・ よくわからない
- ・ 何があるのかどこにあるのか誰がやっているのかわからないから
- ・ 仲間たちとのスポーツクラブや野菜づくりなどで、地域活動の時間がない
- ・ 近隣で何の活動があるのか判らない(町内会も入会出来なかった)
- ・ 町内会役員等経験し高齢になったので、休養しています
- ・ 時間的な余裕が無く、参加したい活動と日にちや時間が合わない
- ・ どんなものがあるかもわからないし、誘われないと入りにくいと思う
- ・ 以前は、参加するように努めていたが、現在年齢により積極的参加は難しい
- ・ 役員が自分の知人や仲間と活動するので、輪に入り辛い
- ・ 時間的ゆとりがない
- ・ 時間がない
- ・ 心のゆとりがない、家事だけでへとへとです
- ・ 何が在るかわからない
- ・ わたしは持病もちなので、そのような事をする体力がない
- ・ どこで誰がどんな活動を行っているのか知らない
- ・ 昔行っていた
- ・ どんな地域活動があるのかよくわからない
- ・ 退職後に考えたい
- ・ 持病があるから
- ・ 社宅のため、地域活動に参加していない

- ・ アパートに住んでいるから。子供がまだ小さいので参加することができない
- ・ 個人で余暇は過ごしたい
- ・ それよりも、趣味優先
- ・ 安城市は、新旧世帯共存で今後は新世帯移住が予測される。町内会役員・地区委員他、なりてがいないと聞きますが結局は、御老体が継続されて世帯交代(少しずつ)が必要と思うが全く進んでいない。町内会存続が危ない意味もわかります
- ・ 呼ばれない
- ・ 同世代の人が参加していない
- ・ 現時点で役割がない
- ・ 以前は地域活動をやっていたが 今年はその当年ではないのでやってない
- ・ 体調不良
- ・ 身体的理由
- ・ 3交代勤務の為、生活のリズムや休みが不規則なため、参加しづらい

### 問11: これまでにDVを受けたことがありますか



### 問12: 誰か(どこか)に打ち明けたり相談したりしましたか(複数回答可)



問13: 男女共同参画を進めるために必要だと思うことをお聞かせください(自由意見・抜粋)

教育

男女共同参画とは具体的にどんなことをするのか、活動に参加するにはどうすればいいのか何も知りません。活動されているのは選ばれた方達だと思っています。

小学生、中学生の頃から、男女は平等であること等を教育の現場で知らせて行く事が大切だと思う。

これからの世代への教育。今の世代への社会的な啓蒙活動。今の世代への権利と責任の認知。その上で、出てきた問題に対しての行政サービスの速やかな実行。

男女共同参画は女性だけが押し進める制度ではない、私も推進事業に積極的に参加して行きたい。若い男女は無意識の内に男女共同参画の資質が備わっているのかもしれない。自覚して頂いてシニア世代に良い見本を示して頂き、若者世代の男女共同参画はこうして実行していると大きな声で伝えてほしい。シニア世代は若者の意見を聞きましよう。

年齢層により参画できる事柄や内容も異なるかと考えます。年代別の女性の意見を多く集め、そのうえで各年齢層間で意見交換する機会を設ける。働く女性だけでなく、専業主婦の意見を聴く機会も設けるべきと考えます。そのことから仕事と家庭の両立、男性の理解等がより分かり易くなると思います。(結婚後も子育てしながら働いてきた者です)

さんかく21・安城に参加しました。長い間何だと思っていたもやもやはあーこれだったのだと目が覚めました。歳は関係なく学ぶことは可能です。今年で14年経ちましたが多くの市民の方に受け入れられているとは思いません。これからも啓発していくべきと考えます。我が家は変わりました。3人の息子はしっかり男女共同参画は当たり前前の生活をしています。うれしいかぎりです。

企業側の雇用制度改革が必要だと思う。またそれ以上に、経営者や従業員の考え方を変える社内教育も必要ではないか。

企業

男性の育児休暇、介護休暇を取りやすい社会を目指す

育休の内容改善を求めます。低年齢児を持つ女性の復帰は時短ではなく、週2~3日出勤の制度導入を検討してほしい。育休や介護休暇取得の2~4名でタッグを組み、同じ仕事を担当し互いに協力できる職場環境を創り出せないか。また低年齢児を持つ妻が働いている夫が家事育児の為に月4~5日休暇取得できる社会理解がほしい。女性ばかりではなく男性の意識改革、育児参加を求めます。

世間では、「男は仕事、女は家庭」という固定観念がまだ根強いと思います。確かに妊娠や出産は女性にしかなできませんが、育児や仕事は男女ともにできます。安城市は大企業もあり、農業も盛んという大きな可能性を持った都市です。今まで我慢してきた女性も、男女が平等だと思えるような画期的な政策や制度ができることを期待します。

女性が社会にどんどん進出していくと少子化、結婚の晩年かはさらにどんどん進んでいくと思う。ただ、女性も男性のように生涯働けるシステムを市制が作ってくれば、女性の活躍も期待できると思う

収入による扶養の制限や、労働時間による保育園又は児童クラブへの入園制限。世の中が、まだまだ家事育児はら女性がするのが当たり前となっている中で、上記の制限のため、子育て中の女性は大変働きにくい。女性の職種での、給与アップがないと、男女共同参画は、出来ないと思います。

女性だから、男性だからと言う仕事や雰囲気を取り払う必要があるのでは？と思います。出産だけは代われないので、育児休暇など今ある制度に加えて、パートナーと半分ずつ育児休暇を取る制度に切り替えると平等かと思う。

時間外労働の削減 自由参加とうたった強制的時間外研修や持ち帰りの課題削減 夜勤や早朝業務の調整ができる職場環境

そもそも労働時間が長すぎて、夫が家にいる時間が少ない。市や県単位で労働時間の見直しを積極的に企業に言ってほしい。そうしないと、いつまでも女性が家庭を守るという構図がかわらないと思う。

女性が職場で働く上で、男性と同様に近い扱いがあるべきだと思う。例えば子供が病気などで保育園を休む時、いつも女性が犠牲になりがち。男性も休みがスムーズに取れるなど、職場の環境や理解が必要だと思う。世間の意識改革の為に大きい企業からどんどん実践してもらいたい。

ワークライフバランスについて、殆ど大企業ばかり制度が充実していて、中小企業はまだまだだと思う。企業が大きく理解と協力をしなければ絶対に進まない。実際に私が、育児時短勤務の延長を申し出たが、会社の理解と協力が得られず、退職せざるを得なくなった。

女性が仕事をしたくても、家事や育児はほとんど女性の負担になります。実家が遠く頼る人がいないと、仕事をしたくてもできなかつたり、できる仕事が制限されてしまいます。本当の意味での男女共同参画が実践できるには、頼る人がいなくても働ける、環境や職場が不可欠だと思います。

例えば、勤務先でこの様な制度があるから取り入れてほしいと言ったところで、きっと無理なんだと思います。行政などが金銭的に補助、援助するなどしないと、小さな会社の負担は計り知れないのでは。私自身パート勤めで、親も高齢になってきたので制度そのものは有り難いが、今のところ、現実的にはあまり寄り添えていない制度・プランだと思います。

産休後の復職率だけは高くても、実際は肩たたきのような部署への異動で自主退職をせまられたり、夫の深夜残業や突然の休日出勤で「妻が子育てをするのが当然」と思っている企業の在り方があったりする以上、いくら努力義務を課しても良くなることはない。うわべの数字や形だけの調査ではなく、個人の体感レベルで踏み込んだ意識改革を図ってほしい。

民間企業で働く30～40代男性は、なかなか休暇を取得しにくい状況です。そのため、家庭では子供の急病に対応するのは妻の役目という流れになり、悪循環になります。女性が働きやすい環境を作るには、男性も制度を利用できる組織体制でないといけないと思います。せめて、有給休暇は消化しなければいけない、消化できないならその日数分を給与に上乘せするなどしないと、納得いきません。会社の駒ではないのです。休暇は取得する義務がこちらにあるはずですよ。

育児休暇制度、育児勤務制度があっても、ある程度の年齢までしかないのが、実質問題、時短がきれたあとに、正社員として働くのは厳しいのが、現状である。女性が働きやすい職場環境があるとよいと思う。

女性は出産があるため、男性と同等に働く事ができないけれど、政府、自治体が産後の赤ちゃんを受け入れる体制ができていれば、女性も産後まもなく、働くことが可能になると思います。ただ、保育料も高いと働く意味がないので、保育料無料、低年齢児を預かってもらえる制度ができれば、女性進出もこれからどんどん進んでいくと思う。

私自身は子育て中の専業主婦ですが、主人の会社も含めて、特に男性が会社だけでなく家庭でのコミュニケーションの時間をとれるように、企業への働きかけが必要だと思います。特に50代以上の男性は、まだまだ「男は会社で仕事さえしていればいい」という考えの人が多くいます。みんなが働きやすく、いきいき生活できる社会にするには、そういった意識を少しでも変えるう、社内教育も重要ではないでしょうか。また、私自身もそうですが、子育てや介護状況に応じて、もっと時間的にフレキシブルな働きかたができればいいと思います。

女性が仕事をする面では子育ての制度を充実させること、賃金を中小企業でも男性並みにしないとダメだと思います。また、子の手が離れた時に正社員として働ける就職口があればと思います。それには新卒にこだわりすぎる雇用にも問題があると思います。老若の差も改めるべきだと思います。とはいえ個人としては男女が平等に仕事をするのが必ずしもあるべき姿とは思いません。家を守り子育てに励むのも尊いと思うからです。真に共同を求めるなら男女共に様々な在り方を子供時代から示し個人の特性にあった進路が選べる必要があると思います。

<p><b>地域</b></p>
<p>土日勤務なので地域の清掃活動に参加出来ないのが、肩身がせまい。人も社会も働き方も多様性になってきているので、行政も柔軟な対応を推進してもらえるとありがたい。</p>
<p>田舎の町内会では特に男尊女卑が残っていて、婦人会が神社の社務所のトイレ掃除をしたり会合では食事の支度や配膳をさせられて、町内会の年配の男性に「酒を持って来い。」などと命令される。婦人会という会があることに疑問を感じる。生涯独身者が増えているのだから婦人会を無くすべきだ。男性も社務所のトイレ掃除や食事の支度や配膳をすべきだ。男性を立てる古い考えの女性も考えを改めるようにすべきだ。それには町内会長の勉強会などを開いて新しい町内会に生まれ変わるべきだ。</p>
<p>行政や、地域の代表に女性がすくない</p>
<p>地域の重鎮はほとんどが高齢の男性であり、議員も同様だと思います。彼らの意識を変えることはできません。住民の男女比がほぼ同数ならば、こうした代表者も同数で構成するのが理想的だとは思いますが、女が表に出ることは日本の社会では好ましくないのです。保育や介護、教育など、今の日本の課題はまさに、今まで女性が担ってきたことの重要性が理解できずにおじさんたちが軽視してきた結果です。真に男女平等教育を受けてきた若者たちが社会の中心となる時期まで、こうした男女共同参画に関する協議が継続されることを希望します。</p>
<p>地域参加ではまだまだ母親の出番が多く、母親として息苦しく感じる事が多い。地域の理解が、女性が働き続ける為には必須。</p>
<p><b>市</b></p>
<p>現在0歳の子を育児中。いずれ仕事をまた始めたいと考えて市役所子ども課に行きました。知らないこともいくつかありました。その情報をもっと分かりやすく公開されれば育児中の女性が働きに出るきっかけにもなるかと思いました。</p>
<p>女性市議の人数を増やすとよい。</p>
<p>男女共同参画を推進するためには、トップダウンではなくて、ボトムアップで進める方が良いと思う</p>
<p>子育てや介護など、行政が主になってサポート体制をとってほしい。誰も頼れない人もいるはずなので、(すべての親子関係が良好ではないとか、少子化など)安心して相談できる体制にしてほしいし、その相談員の資質なども、公平に利用者の声を聞いて、老若男女のすべての世代に対応できる人材体制でしてほしい。</p>
<p>市役所の窓口で普通は世帯主はご主人ですと案内されました。世の中のシステムが男性優先で固定概念が強いと思います。選挙の投票所入場券も世帯主に代表して家族分発送されます。世の中の仕組みが男性を代表にして扱っている以上、性差に関係なく活躍など本気で取り組まれているとは思えません。</p>
<p>様々な雇用形態がある中で、行政サービスの申請なども平日昼間のみなど、仕事のやりくりと、行政の間で困ばいする事も多い。、平等な行政サービスの適用と充実が、女性が働き続ける為には必須。</p>
<p>子供のいる身では、自己啓発したくても時間を取るのがとても難しいです。安城市は託児のある公民館講座があり利用させていただきました。毎回とてもいい時間を過ごせます。託児付きの講座がもっと増えて欲しいなと思います。</p>
<p>安城の中で家族の相談できる場所があるが、曜日や時間が限られていて日程が合わせられにくい。名古屋には女性相談が発展してきているが、安城は全く見えてこない</p>
<p><b>介護</b></p>
<p>介護の家庭にかかる負担を軽減することを推進してほしいです。現実的に家で介護は難しいと思います。必要な税金を必要なところに使ってほしいです。</p>
<p><b>保育</b></p>

下の子どもが生まれた時に上の子どもを保育園から退園させるのを年齢問わずやめてほしい。少子化が問題視されているのに、我が家もいままさに上の子が2歳になるまで産むの控えています。

児童手当の所得制限を止めるか保育園の料金を一律にするかのどちらかやってほしい。頑張って働いた親の所得で子どもがまず制度的に差別されている。

園児、小学生がおりますが、子供の帰宅時間を一番に予定、仕事をしています。もう少し、充実した放課後クラブ、地域での活動がなければ、男性と同じ活動は難しいとおもいます。

#### その他

男女を同格にするために女性を優遇する対策ばかりで疑問を持っています。男性に対する対策なしで良いのでしょうか。このアンケートの質問も女性を優遇するためにはといった意図しか見えて来ません。

女性が働くことを男性がよしとするのは、男性が女性と同じ時間働いたらよいが、女性が仕事を制限し、さらに家庭も守りながら働くことになる可能性が高いため、男性の助けや理解をもって進めるべきだと思います。男女が働くだけではだめってことです。

家庭に入りたい女性もいれば、働きたい女性もいるし、家庭や子育てに興味がある男性もいる。男女共同参画にしても、固定観念に拘らず、個人個人の意見、考えを尊重すべきと思う。押し付けにならないように進められたらと思う。

男性でも女性でも、仕事なら仕事、主夫、あるいは主婦を選びたい時に選べて、それに伴う制度が平等にあればいいと思っています。

男女とも、社会のため地域のため会社のため協力していく活動は必要と思う。しかし男女共同参画について話を聞いたり、書物を見たりするに共同参画が強調されすぎている気がする。男女ともそれぞれの立場が有るのではないか。旧時代？の男は外で働き女性は家を守り育児を行う、これも立派な男女共同参画であると思う、人の活動には、それぞれの立場立場が有る、あまりにも男女共同参画を強調することなく、できることから実施する大きな気持ちが必要ではないか。勿論、女性は外に出るなど言っているのではない。

子育てのし易い環境を整える事が大事だと思いますが、これは、行政に期待したい部分もあるけれど、基本は自分自身が周囲の環境、例えば親と同居するとかファミサポを利用するとかかなりしなくてはいけないと思う。ただ、実家は遠方、旦那は多忙、他人に子供は中々預けにくい。となると子育てが本当に辛イ。子供は3人と思ってたけど現実厳しい。フルで働きたいと思うけど、子供にとって母親の代わりはいないし、男女共同参画や女性活躍推進って言われると、子育てしながら、もっと働けって言われてる様でプレッシャーに感じてしまう。

広くたくさんの方の意見を聞いてほしいなと思います。働く女性ばかりではないし、働かないと女性は特に何も望んでいないみたいに思われるのは心外です。

男女共同参画が、低賃金による共稼ぎの常態化・常識化につながらないように、経済的にも時間的にもゆとりをもって家庭生活・社会生活が送れるようにしていくことが必要。大人の都合で保育を他人任せにするような社会が豊かな社会だとは思わない。男女共同参画は、一つの方策であって、それが目的になってはならない。

「男女共同参画＝男女ともに家の外に出て働く」という考えを市町村がもって推進していると、家庭が一番大事だと考えている人まで、私も外に出て働かなきゃと思う雰囲気になる事が心配。きちんと、政策の意図を皆に理解出来るように、伝える努力をして欲しい。